

新庄市橋梁長寿命化修繕計画



平成31年 3月 策定

令和3年10月 一部改訂

令和5年1月 一部改訂

令和6年1月 一部改訂

令和7年10月 一部改訂

山形県新庄市 都市整備課

目 次

1. 橋梁長寿命化修繕計画の背景と目的	P. 1
2. 橋の管理状況と環境状況	P. 3
3. 維持管理に関する基本的な方針	P. 4
4. 橋梁長寿命化修繕計画の概要	P. 6
5. 計画の策定効果と今後の取り組み	P. 7
6. 摘要事項	P. 11

< 巻末資料 >

新庄市橋梁個別施設短期計画	P. 12
---------------------	-------

1. 橋梁長寿命化修繕計画の背景と目的(1 / 2)

(1) 背景

1) 市の特徴

新庄市は、山形県の北東部の新庄盆地に位置する都市です。周囲は奥羽山脈、出羽丘陵などの山地に囲まれた盆地型の地形です。そのため、盆地特有の気候特性であり一日の寒暖差が大きく、さらに夏季は高温多湿、冬季は最上川沿いに吹き込む北西風が多量の積雪をもたらす国内有数の豪雪地帯です。

2) 橋の特徴

新庄市では 117※橋の橋梁を管理しています。管理している橋梁の特徴として、鉄道(奥羽本線)を跨ぐ橋(跨線橋)、道路(国道 47 号線)を跨ぐ橋(跨道橋)、河川(一級河川最上川水系升形川など)を跨ぐ橋(河川橋)、水路(農業用水・生活用水)を跨ぐ橋(水路橋)があります。

※：令和 7 年 10 月現在は 114 橋

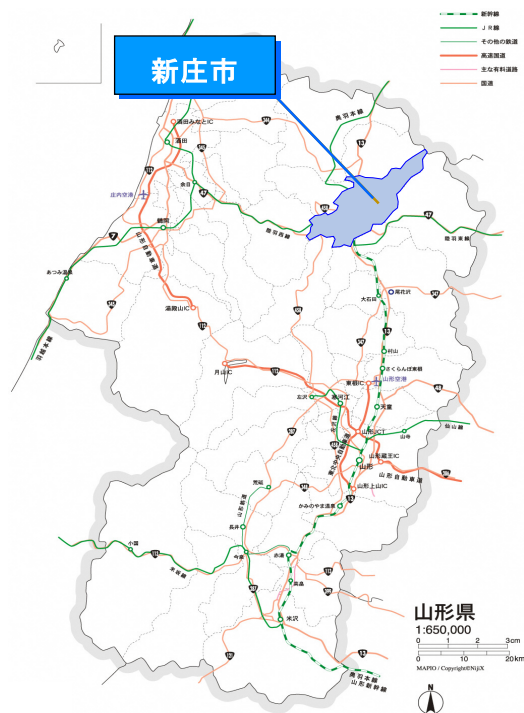


図-1 新庄市の位置

3) 新庄市が直面している課題

管理する橋梁の大半は、高度経済成長期から安定成長期にかけて集中して架設されました。

今後、橋の老朽化の目安となる建設後 50 年を経過した橋が増加します。これらの押し寄せる老朽化に対して限られた時間や費用の中で利用者への安全・安心なサービス提供のためメンテナンス対策を適切に行うことが最も大きな課題です。

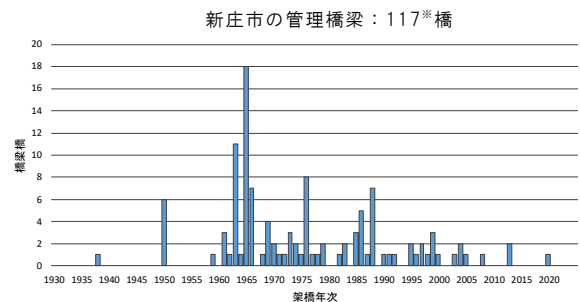


図-2 架橋年次の推移

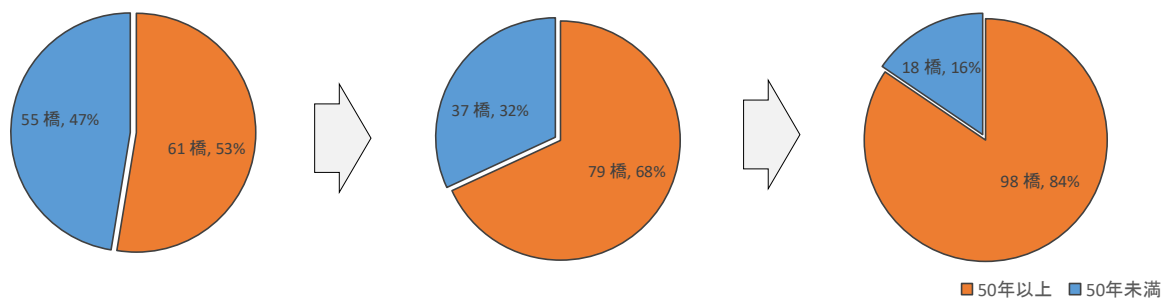


図-3 供用後 50 年を経過した橋梁の推移

1. 橋梁長寿命化修繕計画の背景と目的(2 / 2)

(2) 修繕計画の目的

数多く管理する橋に対して安全と安心を確実に確保するために、計画的にメンテナンス工事が行えるように修繕計画を立案します。

修繕計画では、傷が小さいうちに対策する予防的な措置を行うことで一時的な工事の集中を避け長期的な費用の縮減を図ることでき、橋梁の長寿命化へとつながります。

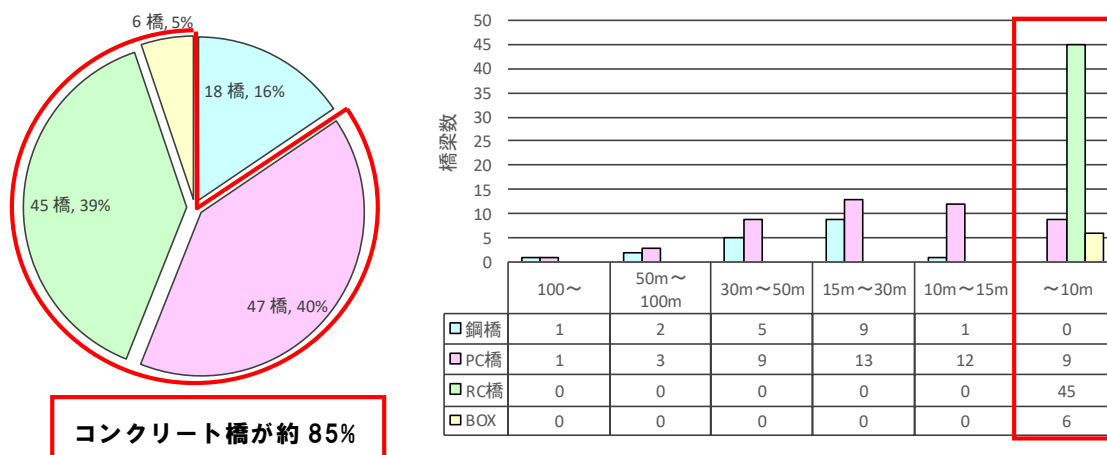
このため、橋梁の適切な維持管理を目標として平成 30 年度(H31.3)に「新庄市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、基本方針を計画策定年から 10 年間(令和 1 年～令和 10 年)と定め、事業を進めてまいります。

2. 橋の管理状況と環境状況

(1) 橋の管理状況

- ・新庄市では 117※橋を管理し、河川、水路、道路、線路を跨ぐ橋を管理しています。
- ・コンクリート橋が全体の約 85% を占め、橋長 10m 以下の鉄筋コンクリート橋が多い。
- ・一級河川最上川水系の河川を跨ぐ橋を最も多く管理している。
- ・現在供用後 50 年以上経過している橋は全体の 53%(61 橋)を占めています。

※：令和 7 年 10 月現在は 114 橋



コンクリート橋が約 85%

図-4 管理橋梁の橋種・橋長の区分

(2) 橋の環境条件

新庄市は山形県内においても特別豪雪地帯であり、現在の主な雪対策には凍結防止剤の散布や除雪車による対策を行っています。凍結防止剤は塩化ナトリウムでできており、持続性に優れているため、事前に道路にまくことで効果を発揮しますが、橋にとっては錆などの劣化を招く恐れがあります。

また、緊急輸送路に指定された路線に架かる橋も管理しています。緊急輸送路は、災害直後から、避難や救助をはじめ物資供給などの応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線です。新庄市では現在、5 橋が緊急輸送路内に架橋されています。

表-1 緊急輸送路内に架橋する橋

路線名	緊急輸送路	該当橋梁	橋梁名	備考
沼田・金沢線	1 次	1 橋	住吉町橋	
沼田・金沢線	2 次	1 橋	新開橋	
五日町・金沢線	2 次	1 橋	若葉町 2 号橋	
松本・若葉町線	1 次	1 橋	沖の橋	
栗田南沢線	2 次	1 橋	駒場橋	
合計		5 橋		

3. 維持管理に関する基本的な方針(1 / 2)

(1) 前回計画の達成と今後に向けた反省点

1) 橋梁の点検結果

平成 26 年の橋梁定期点検要領の改訂により、5 年に 1 度の近接目視点検が基本となり、定期的に橋梁の状況を把握しています。

橋の健全性は、全体的に低下しており、今後もメンテナンス工事を行う予定です。

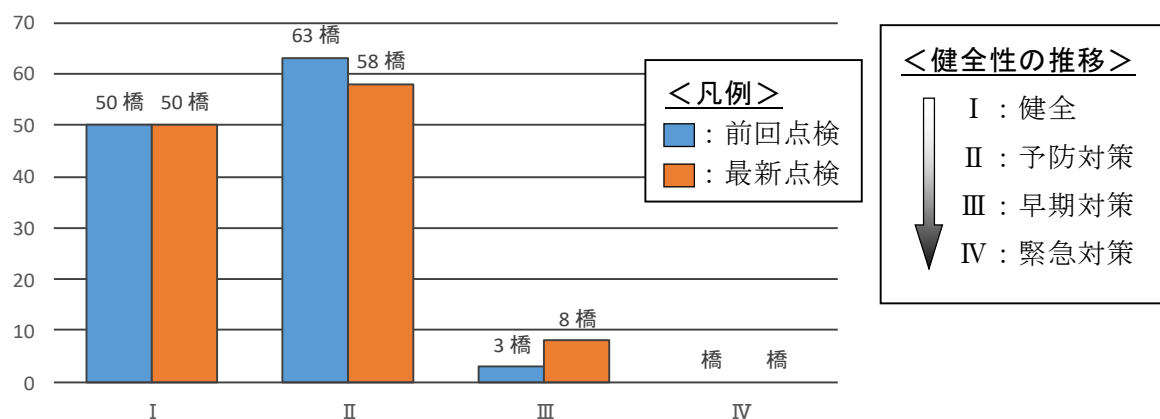


図-5 橋の健全性(前回と最新の比較)

2) 達成状況

定期点検結果より健全性の低い橋について、メンテナンス工事し健全性を回復しており、前回計画から引き続いて今後も実施していきます。また、日常管理として、道路パトロールを実施して異変がないか確認しています。

表-2 メンテナンス工事状況(直近 5 年間)

時期	橋梁名	事業内容	主な維持管理事業内容
令和 3 年	萩野橋	工事	塗装塗替え、コンクリート補修、支承防錆、伸縮装置交換、舗装打換、高欄塗装
	鍋倉橋	工事	床版補修、コンクリート部材補修
令和 4 年	二ツ屋橋	工事	支承防錆、沓座モルタル補修
令和 5 年	前波跨線橋	工事	撤去工事
	北辰橋	工事	コンクリート部材補修、高欄交換、伸縮装置交換
令和 6 年	二ツ屋 1 号橋	工事	床版補修、地覆高欄補修、防護柵補修
	前波橋	工事	支承取替、伸縮装置交換
令和 7 年	三ツ家橋	工事(予)	断面補修、橋面防水、舗装打換

3) 今後のメンテナンスに向けた反省点

毎年メンテナンス工事を行い、橋の健全性の回復を行っています。しかし、健全性が低下する橋も増加傾向にありメンテナンス工事が追いつかない状況です。橋の持つ優先順位を明確にし、狙いを定め(選択)、効率的・効果的(集中)なメンテナンス事業を進めていきます。

3. 維持管理に関する基本的な方針(2 / 2)

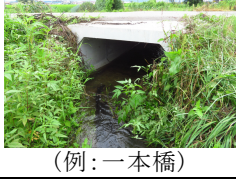
(2) 戦略的メンテナンス

新庄市の管理する 117※橋について、全ての橋に対して健全性が悪化する前に予防的な措置を行うことが最も健全性を高く保つことのできる管理方法ですが、そのためには時間とコストが必要になります。

そこで各橋の環境状況や特性を踏まえた管理方法を設定し、メリハリのあるメンテナンス(戦略的メンテナンス)を行い、効率的・効果的なメンテナンスを行います。

※：令和 7 年 10 月現在は 114 橋

表-3 戦略的メンテナンスの管理方法

管理方法	該当橋梁	管理方法	代表橋梁
戦略的管理	0 橋	長大橋など架替えとなった場合、膨大な費用やサービス停止等社会的影響力が大きいことから、常に健全性を保ち計画的な維持管理を目指す。	-
予防保全型	64 橋	橋長 15m 以上の川幅の広い川や鉄道、道路に架橋される橋梁および鋼橋、PC 橋に対して予防保全的な維持管理を目指す。	 (例: 緑の絆橋)
対症療法型 A	11 橋	橋長 5m 以上 15m 未満の RC 橋およびボックスカルバートに対して、「従来の傷んでから治す」維持管理を目指す。	 (例: 明神2号橋)
対症療法型 B	42 橋	撤去・架替えのある橋梁、補修補強が行えない橋梁および橋長 5m 未満の RC 橋およびボックスカルバートについて、最低限の安全対策を行う維持管理を目指す。	 (例: 一本橋)

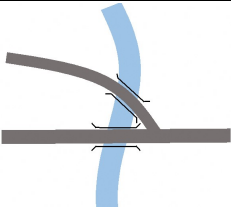
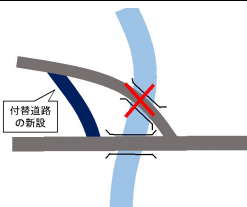
(3) 集約撤去

限りある時間やコストの観点から、新庄市の管理する 117※橋について、一部撤去や集約化する計画です。橋の持つ重要度や周囲に代替ルートがある橋が対象となり、今後撤去して集約化することでメンテナンスにかかるコストの縮減を図ります。撤去・集約化の考え方とその選定方法について以下の通りです。

ただし、直ちに実施することではなく利用者の意見等を踏まえて段階的に進める考えです。

※：令和 7 年 10 月現在は 114 橋

表-4 集約撤去の考え方(道路橋の集約・撤去事例集 抜粋)

概 要	対 策 前	対 策 後
撤去に加え、撤去する橋梁の迂回路となる経路に対する整備を実施		

4. 橋梁長寿命化修繕計画の概要

(1) 橋梁長寿命化修繕計画について

各橋の維持管理方法によりメリハリのあるメンテナンスを行うことでコストの縮減を図ります。コストの縮減の仕組みについて、予防保全型(傷みが小さいうちから計画的に治す方法)と事後保全型(傷んでから治す方法)を例に以下に示します。

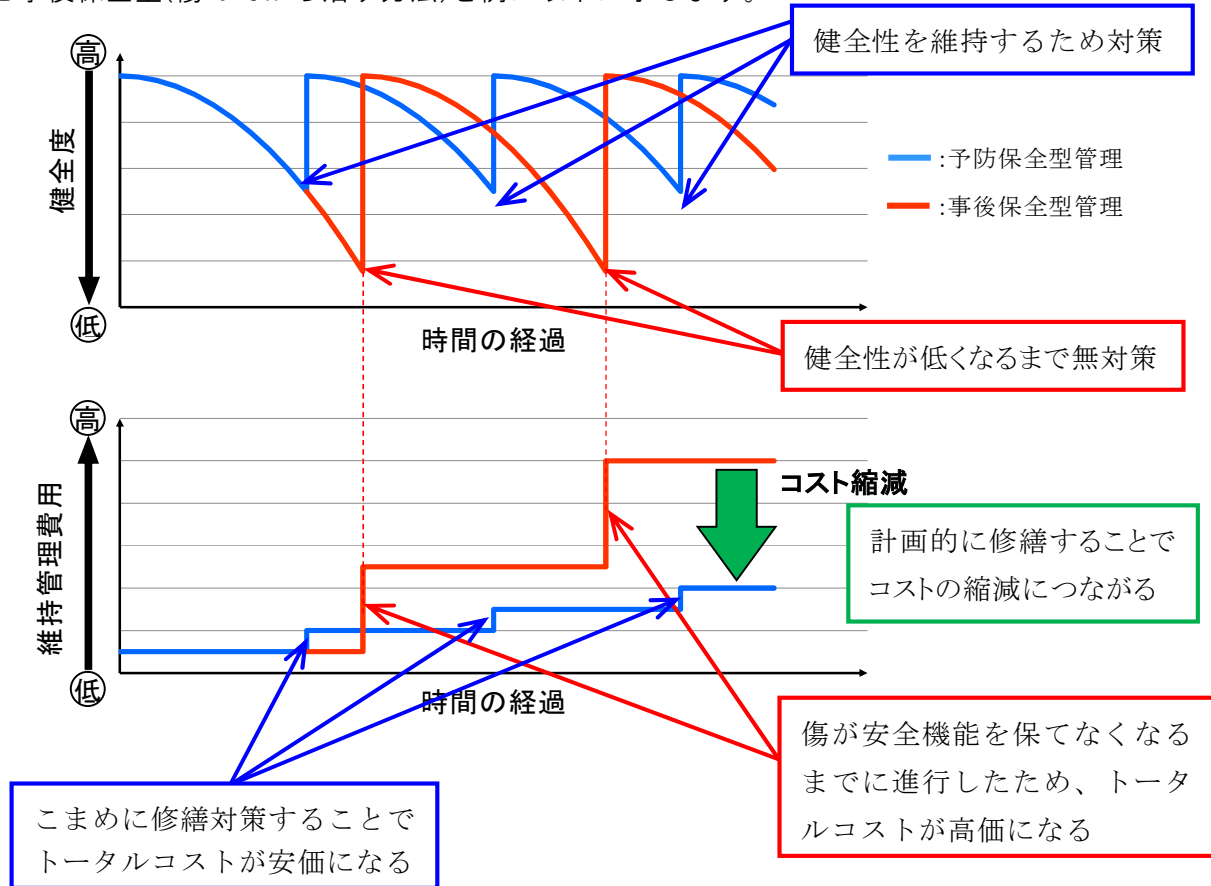


図-6 計画的な対策による費用縮減図

(2) 優先的対策

戦略的メンテナンスにあたり、優先的に対策を行う橋の順位を設定します。優先順位の設定には、橋の健全性と重要性を考慮した順位の設定を行います。健全性と重要性について、各項目の用語を説明します。

- ・ 健全性：橋の健全性は、点検結果を基に橋の安全性を評価する耐荷性・災害抵抗性・走行安全性の要求性能を基に設定します。
 - (耐 荷 性：車両載荷状態など耐荷力余裕が適切に保たれていることの程度)
 - (災害抵抗性：地震等の自然災害に対する抵抗機能が健全であることの程度)
 - (走行安全性：車両の安全な通行が確保されていることの程度)
- ・ 重要性：立地状況や環境状況などを考慮し、さらに社会的な影響力(迂回路の有無)を考慮して設定します。

5. 計画の策定効果と今後の取り組み(1 / 4)

(1) 計画策定効果

戦略的メンテナンス管理による今後 50 年を対象に橋梁長寿命化計画を策定した結果、22.8 億円の事業費が算出できます。これは、従来のメンテナンスを行った結果と比較して **36.2 億円の費用削減**が見込まれます。

削減効果の理由として、橋毎の管理方針を明確にしたことで、費用の縮減につながったものとなります。

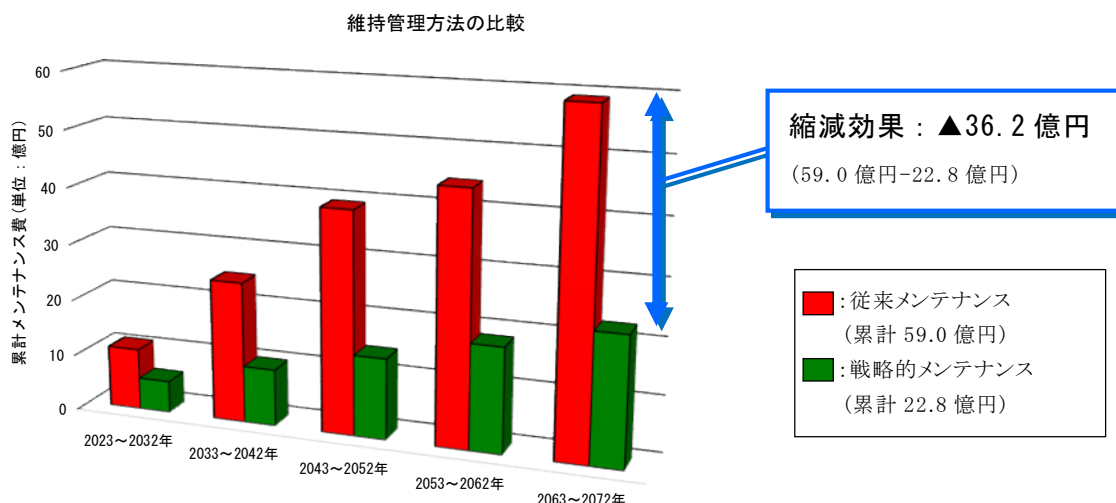


図-7 計画策定による費用削減効果

(2) 今後の取り組み

今後新庄市で行うメンテナンス事業について、「1) 老朽化対策の基本方針」、「2) 新技術の活用方針」、「3) 費用縮減の方針」の3つの観点から取り組んでいきます。

1) 老朽化対策の基本方針

a) 継続的な日常管理

橋の健全性を管理するために前回計画同様に道路パトロールを行い、日常管理(排水溝の土砂詰まり撤去・路面清掃)することで健全性を保ちます。

b) 緊急措置の実施

地震等の突発的な作用により緊急性を要する損傷が認められた場合には緊急対策を行い、利用者の安全を確保します。

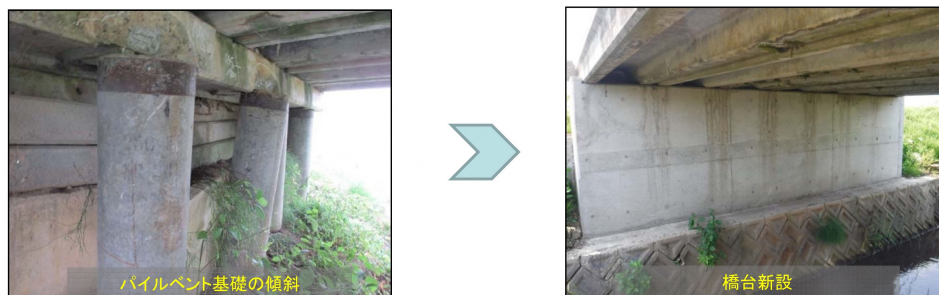


図-8 緊急措置を必要とした工事事例

5. 計画の策定効果と今後の取り組み(2 / 4)

c) 橋梁マネジメントサイクル

点検・診断・修繕の橋梁マネジメントサイクルを定着させ、効率的・効果的な維持管理を実現します。

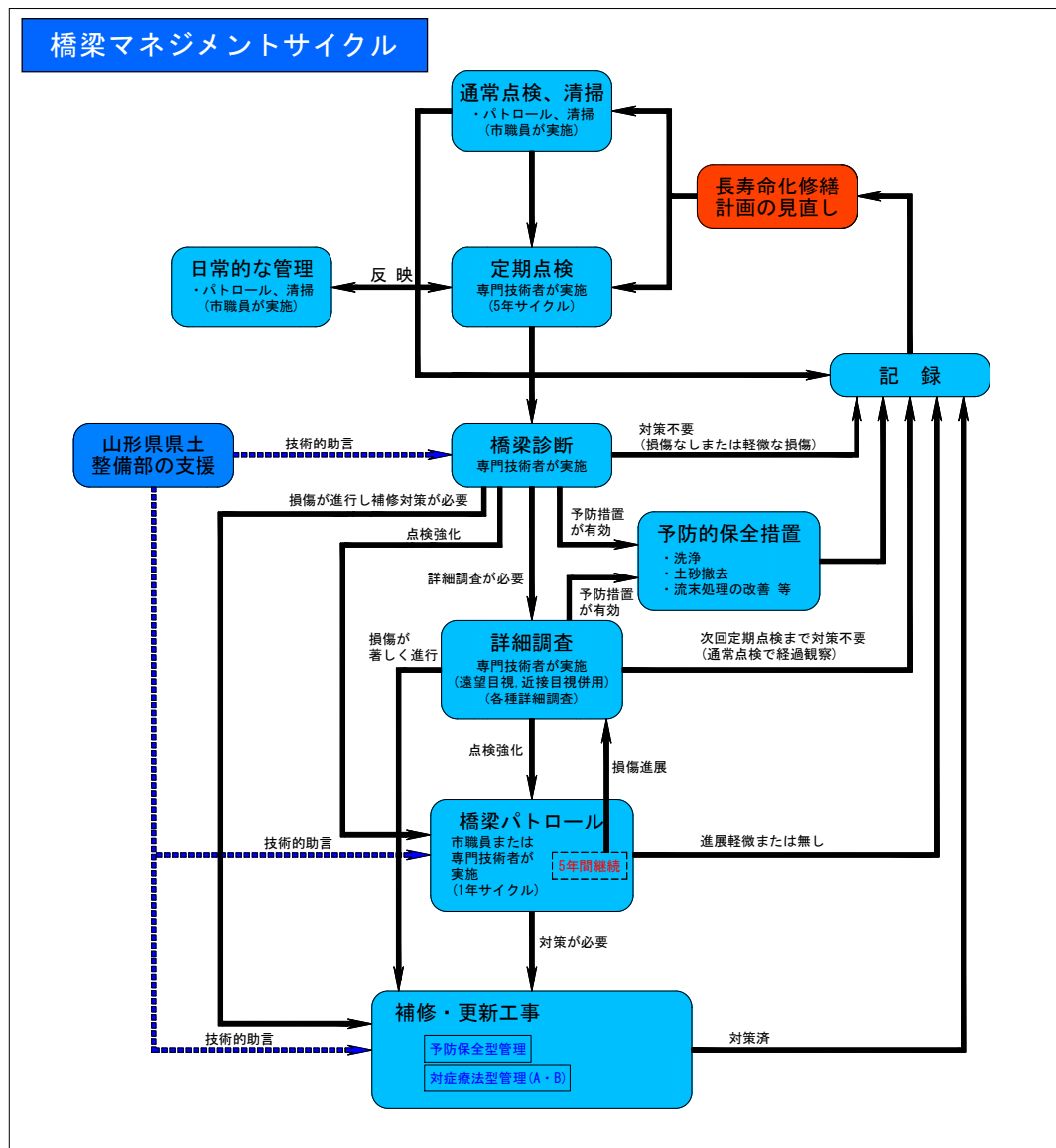


図-9 橋梁マネジメントサイクル

d) 技術者(市職員)の育成

山形県等が主催する橋梁点検や補修に関する講習会等に参加し、橋梁の劣化損傷特性、点検技術手法、対策工法の選定などの知識や見識を深め、日常管理に役立てます。また、通常点検、工事の設計・監理を通じベテラン技術者から若手技術者への技術伝承を図ります。

e) 既存データの活用

新設橋や補修工事に関するデータは保存し、今後の維持管理や対策に活用します。

過去の点検データなどの既存データについては、山形県県土整備部ならびに(公財)山形県建設技術センターと協議・検討を行うとともに、山形県道路橋梁メンテナンス統合データベース(DBMY)による利活用を積極的に検討します。

5. 計画の策定効果と今後の取り組み(3 / 4)

f) 新庄市で発生する劣化機構と今後の延命化対策方針

新庄市で確認している部材の劣化は、主に中性化や凍害となります。

中性化や凍害そのものについて、直接的な悪さをすることはありません。しかし、劣化が進行することでコンクリート内部の鉄筋に錆を発生させコンクリート片の落下などへ進展する恐れがあります。

こうした進展を食い止めるため、補修工事では健全性の回復と合わせて劣化機構を考慮した補修内容を計画します。補修内容については、次の項目を念頭に延命化を図ります。

- ・すでに欠損している箇所への補修(断面補修)
- ・劣化進展の要因となる水の防水対策(橋面防水など)

2) 費用縮減の方針

維持管理方法によって既設構造物の延命化を図る一方で、経年的な劣化や地震等による突発的作用により想定以上の損傷が認められた際には、対策において莫大な費用を要することになります。これらは管理橋梁数が多いほどにそのリスクが高まります。

そこで、費用縮減のために「管理橋梁を減らすこと」、「メンテナンスが容易な構造へ更新すること」を基本方針として進めていきます。

a) 管理橋梁を減らす

管理橋梁を減らすためには、橋梁の持つ社会的影響力など重要度を考慮した上で、集約化や撤去を行う計画とします(現在、1 橋が撤去済みです)。

b) メンテナンスが容易な構造へ更新

小規模橋梁を多く管理する新庄市においては、補修対策時期においてボックスカルバートへの更新することも視野に入れることとします。ボックスカルバートは、橋梁構造と異なり弱点となる部分が少なくなるため、メンテナンス性に優れています。



図-10 ボックスカルバートへの更新イメージ図(山形県橋梁補修ガイドライン 抜粋)

5. 計画の策定効果と今後の取り組み(4 / 4)

3) 短期的な費用縮減目標

a) 新技術の活用による費用縮減

点検が困難な橋梁についてはドローン等の新技術を導入し、従来よりも省力化、効率化を図る事により令和 7 年まで全体の 114 橋の内 10 橋を候補に約 1 百万程度の点検費用削減を目指します。

新庄市は、大中規模の河川橋を管理しており、そのため経年劣化による塗装対策に占める修繕費の割合が大きいことから、塗装技術について新技術の活用を検討し、今後 5 年間でライフサイクルコストの 1 百万円の低減を目指します。

b) 集約化撤去による管理費用縮減

集約化・撤去対象の検討を行った結果、管理する施設は緊急輸送道路等の重要な路線のほか、山間部に位置しており、迂回路がない路線であるため集約化・撤去を行うことが困難な状況です。

周辺の状況や施設の利用状況を踏まえて、再度検討を行います。

6. 摘要事項

■ 計画策定部署

山形県新庄市 都市整備課

■ 次期事業計画

次期事業計画は次回点検(R8～9)までの期間を対象に計画したものになり、R10以降には新たに短期計画を策定します。

新庄市橋梁個別施設短期計画

令和5年度

- 計画期間：・定期点検(5年に1回)サイクルを踏まえ、次回点検までの期間における短期修繕計画を設定する
優先順位：・点検結果に基づく施設全体の判定区分でⅢ、Ⅳ判定を優先的に補修する
・判定区分を踏まえつつ、緊急輸送路など橋の持つ重要性を考慮して優先的な修繕順位を設定する
(Ⅰ：健全、Ⅱ：予防保全型段階、Ⅲ：早期措置段階、Ⅳ：緊急措置段階)
新技術：・定期点検において、ドローン等の新技術導入による1百万のコスト縮減を目指す
・修繕工事において、塗装塗り替えを中心とした新技術の導入による1百万円のコスト縮減を目指す
(小規模橋梁への新技術の検討・活用を図り、新技術の導入によるコストの縮減効果を最大現発揮するように努める)

対象施設	路線名	架設年次	橋梁諸元				点検結果		修繕時期	主な修繕内容	修繕費用	次回点検	
			橋長(m)	径間数	幅員(m)	橋梁形式	年度	判定			(千円)	次回	次々回
中道橋	北町・円満寺線	1972 年	10.00	1	3.50	鋼橋	2021	Ⅱ	2023	架け替え更新(山形県)		2026	2031
住吉町橋	沼田・金沢線	1965 年	2.80	1	9.95	RC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
新開橋	沼田・金沢線	1959 年	13.47	1	8.80	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
観音寺橋	市役所裏線	1965 年	3.10	1	3.12	RC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
川西橋	川西小檜室線	1965 年	4.24	1	6.30	RC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
小檜室橋	川西小檜室線	1976 年	3.00	1	4.85	BOX	2021	Ⅰ				2026	2031
6号線橋	6号線	1950 年	2.37	1	6.59	RC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
14号線橋	14号線	1963 年	3.02	1	7.70	RC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
下金沢橋	27号線	1950 年	3.60	1	5.20	RC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
42号線橋	42号線	1965 年	3.60	1	4.69	RC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
地蔵橋	御長柄町・鉄砲町線	1963 年	8.40	1	1.40	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
錦帯橋	五日町・金沢線	1961 年	10.00	1	8.60	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
若葉町2号橋	五日町・金沢線	1950 年	3.22	1	10.18	RC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
若葉町1号橋	沖・鉄砲町線	1963 年	2.60	1	14.25	RC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
吉袋橋	沖の町・中山町線	1961 年	8.40	1	8.47	PC橋	2021	Ⅱ	2032	床版補修、下部工補修、高欄交換	4,037	2026	2031
太広町橋	新庄停車場松本線	1950 年	5.00	1	7.75	RC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
家の浦橋	家の浦・北の浦線	1969 年	2.30	1	5.00	RC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
関屋橋	関屋線	1970 年	10.40	1	4.00	PC橋	2021	Ⅱ	2032	床版防水、下部工補修、高欄交換	4,858	2026	2031
瑞雲院橋	太田・一本柳線	1969 年	22.40	1	5.00	PC橋	2021	Ⅱ	2031	上部工補修、床版防水、高欄交換	5,211	2026	2031
西山橋	堀端川西線	2000 年	26.50	1	10.50	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
足達前橋	山片町・仁間線	1992 年	41.70	1	5.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
横前橋	東山線	1976 年	26.80	1	2.50	鋼橋	2021	Ⅱ	2028	橋面防水、高欄交換、伸縮交換等	12,200	2026	2031
葉師橋	山屋・山手線	1976 年	19.50	1	2.60	鋼橋	2021	Ⅱ				2026	2031
不動橋	3号線	1982 年	38.58	1	4.70	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
春日橋	9号線	1978 年	38.60	1	6.00	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
新栄橋	新庄停車場松本線	1979 年	38.97	1	6.00	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
岡田橋	福宮・蛇塚線	1991 年	56.20	2	8.00	PC橋	2021	Ⅱ	2025	橋面防水工、伸縮交換、下部工補	25,000	2026	2031
新田川橋	金沢・二ツ屋線	1961 年	21.70	2	6.00	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
二ツ屋橋	二ツ屋小角沢線	1975 年	28.89	2	4.00	鋼橋	2021	Ⅲ	2023	支承補修(金属溶射)	5,000	2026	2031
栄橋	足達前1号線	1973 年	16.64	1	7.90	鋼橋	2021	Ⅱ				2026	2031
沖の橋	松本・若葉町線	1977 年	39.05	1	8.50	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
小角沢橋	駒場・小角沢線	1974 年	18.10	1	4.00	PC橋	2021	Ⅱ	2032	床版防水、高欄交換、伸縮交換	8,800	2026	2031
宮野橋	本合海・宮野線	1971 年	39.20	2	5.50	鋼橋	2021	Ⅱ	2029	桁塗装、支承防錆、Co部材補修	23,100	2026	2031
前波橋	前波河の口線	1973 年	37.00	2	5.00	鋼橋	2021	Ⅲ	2024	支承交換	40,000	2026	2031
八幡橋	八幡線	1987 年	68.00	3	2.80	鋼橋	2021	Ⅰ				2026	2031
金堀沢橋	金堀沢線	1983 年	15.29	1	3.00	鋼橋	2021	Ⅰ				2026	2031
東山橋	新庄駅・横前線	1979 年	28.30	1	16.00	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
乱場堂橋	横前・大福田線	1983 年	40.50	1	8.00	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
中関屋橋	中関屋山屋線	1985 年	19.37	1	5.00	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
東山第1橋	新庄駅・横前線	1985 年	19.40	1	17.65	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
大以良川橋	黒沢・仁田山線	1974 年	17.00	1	6.50	鋼橋	2021	Ⅱ	2030	塗装塗替え、床版補修、支承防錆	17,300	2026	2031
萩野橋	黒沢・仁田山線	1973 年	16.50	1	4.50	鋼橋	2021	Ⅰ				2026	2031
関屋西橋	関屋線	1988 年	20.25	1	6.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
横打橋	反田・横打線	1990 年	30.50	1	3.00	鋼橋	2021	Ⅱ	2028	塗装塗替え、支承防錆、伸縮交換	29,000	2026	2031
福田橋	福田・飛田線	1988 年	53.60	2	6.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
紫陽花橋	石川町松町1号線	1995 年	27.60	1	18.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
石動大橋	横根山萩野線	1988 年	105.50	4	8.00	鋼橋	2021	Ⅱ	2027	橋面防水工	13,000	2026	2031
駒場橋	栗田南沢線	1997 年	31.82	1	7.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
向田橋	村東向田線	1996 年	122.30	5	6.50	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
向田2号橋	六軒家向田線	1998 年	19.00	1	7.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
小以良川新橋	上山屋萩野線	2003 年	15.30	1	8.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
岩の下橋	上山屋亀割線	1988 年	15.70	1	8.00	PC橋	2021	Ⅱ				2026	2031
水上橋	上山屋亀割線	1999 年	39.00	1	8.00	鋼橋	2021	Ⅰ				2026	2031
亀割跨道橋	上山屋亀割線	2004 年	37.20	1	8.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
ごきげん橋	石川町松町2号線	2005 年	34.30	1	16.00	鋼橋	2021	Ⅰ				2026	2031
緑の絆橋	野中谷地小屋線	2008 年	80.70	2	9.00	鋼橋	2021	Ⅰ				2026	2031
福田山橋	福田工業団地線	2004 年	38.70	1	13.02	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
トウメキ橋	トウメキ3号線	1997 年	24.00	1	7.00	PC橋	2021	Ⅰ				2026	2031
北辰橋	北辰小学校前線	1970 年	22.60	1	5.50	鋼橋	2021	Ⅲ	2023・2024	下部工補修、地覆打換え、高欄交	25,000	2026	2031
北辰橋側道橋	北辰小学校前線	1986 年	23.50	1	2.00	鋼橋	2021	Ⅱ	2030	塗装塗替え、床版防水、伸縮交換	11,200	2026	2031
北の浦橋	家の浦・北の浦線	1965 年	7.10	1	7.00	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
金浦橋	北浦一号線	2013 年	4.50	1	7.00	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
赤坂西橋	赤坂・大文線	1976 年	7.10	1	3.00	PC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
昭和1号橋	赤坂・昭和線	1969 年	3.00	1	3.00	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
赤坂橋	赤坂・二枚橋線	1965 年	2.80	1	6.00	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
赤坂堰橋	赤坂・二枚橋線	1965 年	4.40	1	6.80	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
往還東1号橋	柏木原線	1950 年	3.10	1	5.00	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
塩野橋	泉田・二枚橋線	1965 年	2.60	1	7.20	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
塩野1号橋	柏木原仁田山線	1966 年	2.40	1	7.00	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
吐出1号橋	士内・神室線	1965 年	5.50	1	4.00	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
西宿橋	萩野・西宿線	1988 年	11.40	1	5.00	PC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
塩野2号橋	横根山・仁田山線	1965 年	2.60	1	5.60	BOX	2022	Ⅰ				2027	2032
古峯橋	水上萩野小学校線	1995 年	12.00	1	5.00	PC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
鍋倉橋	昭和ポンプ場線	1969 年	4.40	1	6.50	RC橋	2022	Ⅲ				2027	2032
泉田小橋	小橋線	1965 年	4.30	1	3.80	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
中山橋	中山・高壇線	1976 年	4.60	1	4.50	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
大昭橋	梅ヶ崎吉沢線	1962 年	2.80	1	3.50	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
一本橋	太田・一本柳線	2020 年	2.00	1	3.40	BOX	2022	Ⅰ				2027	2032
月岡橋	一本柳・月岡線	1965 年	3.20	1	5.10	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
梅ヶ崎橋	梅ヶ崎線	1966 年	5.40	1	6.10	PC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
小月野橋	月岡線	1976 年	7.50	1	6.40	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
上小月野橋	小月野・小月野線	1965 年	3.60	1	5.00	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
立石橋	新庄・神室山線	1963 年	4.70	1	3.50	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
勃興橋	中関屋山屋線	1965 年	4.00	1	4.20	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
休場橋	休場・瀬見線	1963 年	10.40	1	3.70	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
栗田橋	金沢・二ツ屋線	1963 年	3.62	1	5.70	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032

- 計画期間： ・ 定期点検(5年に1回)サイクルを踏まえ、次回点検までの期間における短期修繕計画を設定する
- 優先順位： ・ 点検結果に基づく施設全体の判定区分でⅢ、Ⅳ判定を優先的に補修する
- ・ 判定区分を踏まえつつ、緊急輸送路など橋の持つ重要性を考慮して優先的な修繕順位を設定する
(Ⅰ：健全、Ⅱ：予防保全型段階、Ⅲ：早期措置段階、Ⅳ：緊急措置段階)
- 新 技 術： ・ 定期点検において、ドローン等の新技術導入による1百万のコスト縮減を目指す
- ・ 修繕工事において、塗装塗り替えを中心とした新技術の導入による1百万円のコスト縮減を目指す
(小規模橋梁への新技術の検討・活用を図り、新技術の導入によるコストの縮減効果を最大現発揮するように努める)

対象施設	路線名	架設年次	橋梁諸元				点検結果		修繕時期	主な修繕内容	修繕費用	次回点検	
			橋長(m)	径間数	幅員(m)	橋梁形式	年度	判定			(千円)	次回	次々回
南沢橋	金沢・二ツ屋線	1963 年	2.40	1	5.52	RC橋	2022	Ⅲ	2025	床版補修、下部工補修	3,200	2027	2032
二ツ屋1号橋	二ツ屋・大平線	1963 年	6.30	1	7.00	RC橋	2022	Ⅲ	2025	主桁補修、下部工補修	3,900	2027	2032
清水川橋	吉袋・清水川線	1976 年	2.20	1	7.70	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
中関屋5号橋	中関屋2号線	1976 年	3.00	1	6.40	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
無名橋	小月野大福田線	1966 年	8.47	1	5.00	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
全蔵橋	上山屋萩野線	1988 年	14.08	1	8.00	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
東新橋	上山屋萩野線	1988 年	14.00	1	8.00	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
南沢2号橋	南沢2号線	1986 年	2.76	1	8.63	BOX	2022	Ⅰ				2027	2032
中川原小橋	荒小屋・野中線	1963 年	8.05	1	9.33	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
冷水沢橋	冷水沢線	1986 年	12.55	1	6.00	PC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
飛田1号橋	飛田・蛇塚線	1968 年	3.00	1	5.00	BOX	2022	Ⅱ				2027	2032
飛田3号橋	飛田・蛇塚線	1965 年	2.80	1	6.13	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
新宿橋	新宿線	1999 年	13.54	1	5.50	PC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
米根橋	新庄・米根線	1966 年	5.42	1	2.52	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
種活橋	種活沢線	1966 年	8.54	1	3.62	PC橋	2022	Ⅲ	2026	床版防水工、下部工補修	4,100	2027	2032
明神橋	玉ノ木1号線	1985 年	11.70	1	4.50	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
明神2号橋	玉ノ木1号線	1965 年	5.62	1	3.80	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
前波第1橋	前波河の口線	1963 年	2.65	1	5.78	BOX	2022	Ⅱ				2027	2032
三ツ家橋	飛田・庚申線	1938 年	8.00	1	4.55	RC橋	2022	Ⅲ	2026	主桁補修	1,500	2027	2032
野中橋	野中2号線	1966 年	2.66	1	4.95	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
早坂橋	北町・上西山線	1965 年	2.20	1	8.50	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
谷地南橋	北町・上西山線	1950 年	2.82	1	12.00	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
蛇塚橋	升形蛇塚線	1966 年	5.30	1	6.03	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
福田橋	仁間福田線	1965 年	3.78	1	9.00	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
向野橋	向野・磯の沢線	1963 年	4.20	1	5.50	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
鶴巻橋	本合海・宮野線	1964 年	5.00	1	6.50	RC橋	2022	Ⅰ				2027	2032
福田山橋	福田山線	1986 年	7.48	1	6.00	RC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
大清水1号橋	大福田梅ヶ崎線	1986 年	8.40	1	8.00	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
柏木山大橋	二ツ屋柏木山線	1999 年	68.00	2	8.50	PC橋	2022	Ⅱ	2029	橋面防水、Co部材補修等	11,400	2027	2032
新下田橋	下田3号線	2013 年	14.80	1	13.00	PC橋	2022	Ⅱ				2027	2032
前波跨線橋	升形前線	不明	19.70	3	4.00	鋼橋	-	-	2023	撤去	100,000	-	-